

中原通信



文責 増永 善久



学校教育目標について

4月26日は授業参観・PTA総会等お世話になりました。すべてのご家庭に参加していただきました。長い教員生活ではじめてのことでしたので、ただただ中原のすごさに感心した1日でした。

本年度の学校教育目標を『ふるさとを想い、学ぶ楽しさを実感する、心ゆたかでたくましい「中原っこ」の育成』としました。少し漠然としてますので、この目標に込めた思いをご説明します。まず、『ふるさとを想い』とは、ふるさとでの「出会い」を大切に、豊かに地域の方とつながり、ふるさとを愛することはもちろん、ふるさとの現状や未来について、そしてふるさとへの貢献へも思いを巡らせてもらいたいという思いを込めています。次に、「学ぶ楽しさを実感する」とは、現在は、予測が難しく変化が激しい時代です。学ぶ楽しさを身に付けておけば、社会の変化に対応するために大切な「自ら課題を見つけ、考え、判断し、行動する」力につながると考えています。学ぶ楽しさを生涯持ち続け、変化の激しい時代に対応してくれればとの思いを込めています。最後に、「心ゆたかでたくましい」とは、豊かな感性や人権感覚を持つとともに「非認知能力」(主体性・創造性・協働力・共感力・公共性・コミュニケーション力・忍耐力・自己肯定感・自己管理能力などの学力とは別の力)を高めて、時代の変化に対応できる心身ともにたくましい人になってほしいとの思いを込めています。

子どもたちはいろんな可能性を秘めていると思います。学校生活をとおして「自分にはこんな力があるんだ」と未だ知らなかった自分の力に気づくこともたくさんあるのではないのでしょうか。だからこそ、ふるさとのことを考えたり、学ぶ楽しさを実感したりすることで、今まで知らなかった新たな自分の力に気づき、自分の可能性を広げてほしいと思います。

学校の行事から

◎ペッパーくん

熊日新聞等で紹介されましたように、5月2日(木)からペッパーくんが児童の登校を出迎えてくれています。また、休み時間にはペッパーくんとのお話やペッパーくんのダンスを楽しんでいる児童も見られます。まだ、ペッパーくんの活用は少ないですが、これから子どもたちの教育へとつなげるため、活用の工夫を学校として進めていきます。



登校時の様子

◎サツマイモ苗植え、羊の毛刈り体験

5月9日に、サツマイモの苗植えと羊の毛刈りの体験を実施しました。体験を通し、土に触れる、動物に触れるなど本物に触れる良い機会となったと思います。本物に触れることは、子どもたちが成長していくうえで、すごく大事なことだと思っています。本物に触れることで、さまざまな価値観との出会いをとおした豊かな心の育成につながりますし、今の生活への興味・関心、意欲の向上にもつながるとも思います。ペッパーくんや羊の毛刈りなどは今年度新たに加わった体験です。これからも様々な体験をとおし、本物に触れる機会を充実させていきたいと思っています。



サツマイモの苗植え



羊の毛刈り

◎水難避難訓練(引き渡し訓練)

5月10日に水難避難訓練として、引き渡し訓練を実施しました。ご家庭の皆さまと連携することで、自然災害への対応の仕方などについて、本校の職員が細かく検討する機会になりました。また、梅雨の時期を迎えるにあたり、職員の防災意識を向上させる機会にもなりました。ご協力ありがとうございました。ご家庭でも豪雨災害が発生したらとっていただき、防災を考えるきっかけにいただけたら幸いです。

150周年記念行事に向けて

今年度、本校は150周年を迎えます。5月22日に150周年記念行事実行委員会が開かれました。記念行事に向けて実行委員長の中原区長さんを中心に役員や委員の皆さまにいろいろとご検討をさせていただきました。ありがとうございました。記念行事に向け、実行委員会をはじめとする地域の皆さまや保護者の皆さまのご支援のもと、学校としても準備を進めてまいります。